

# ● ● ● 東海道を歩く④ 神奈川宿 ● ● ●

日時:2019年11月30日(土) 天候:晴れ 16000歩 約12km

集合:京急神奈川新町駅 10時

コース:神奈川新町駅→長延寺跡→熊野神社→成仏寺→神奈川地区センター→慶雲寺→神奈川台場跡→星野町公園→権現山→本覚寺→台町の茶屋→神奈川台関門跡→沢渡中央公園→横浜駅

参加者:長廣(L) 熊島(SL) 平石 仲 青松 奈良 小林 河野 小島 栗田 山川 丹後 平林勝 志村 桑原 奥村 滝川 加納喜 高橋友 計19名

東京から京都まで、新幹線に乗ると最速で2時間8分。逆にのんびりと、下道を原付バイクや自転車で行く強者もいるほど。この東海道は江戸時代に整備されたが、その目的は参勤交代や情報収集のための交通網。文化文政の頃には庶民の間にも旅行ブームがおき、多くの人々が行き交う街道となった。これを人々は12~15日ほどで歩き、最速便の飛脚では何と72時間で走ったとも！(料金は今の100万円ほど)・・・だが令和の我々は、歴史を感じながらゆったりと歩くことに。

東京で木枯らし一号が吹かなかったのは初の2年連続。この日の朝は冷え込み、全員が揃うまで駅横の日当たりの良い場所で待機。“9時59分”には全員が顔を揃え、神奈川通東公園でリーダー直々のストレッチ！因みにこの公園はオランダ領事館跡。本日のコースの殆どは寺巡りだった！と言えば大袈裟ですが・・・それぞれに故事来歴があり、旧東海道を知る上で大変勉強になった。さすがに五街道の中でも随一の交通量を誇った道だけのことはあります。だが立ち寄る寺の数が多かったので、後でどれが何処だか分からなくなってしまった！ そのような訳で、本日のレポートも各所に誤りがあるかも知れませんが、そこは“大人の対応”でご覧頂ければ幸いです。

<フォトレポート 小島>



星野町公園の神奈川台場跡碑前で全員集合。ここがランチ場所でしたが北風が強く震えながら食べた！



神奈川新町駅。寒いので日当たりの良い場所で待機中！



ここは以前に大型トラックの事故があった現場でした。



神奈川通東公園で長廣リーダーからコース説明と班分け確認。

長廣流ストレッチ。(いつもとは違う)



ここは昭和40年まで浄土真宗長延寺が有った場所で、開港当時はオランダ領事館に充てられた。(神奈川歴史の道起点)



長泉寺。領事館に充てられる事を快よしとせず、屋根をはがし修理中とし幕命を断った。



笠程(かさのぎ)稲荷神社。本日初の上り階段だが低い！



神社と言えば狛犬。もしかしたらこれは“生狛犬”か？

■戦国時代に兵火に罹災してしまったものの、永禄2年(1559年)に再興なって大祭を行い、元禄2年(1689年)には稲荷山の中腹より山麓に遷座。これより、社前を通行する者の笠が自然と脱げて地に落ちたことから、「笠脱稲荷大明神」と称されるようになり、後に別当能満寺の阿闍梨が笠脱の一字を訂正し、禾に皇を添えて「笠種稲荷大明神」と改称した。



狛犬様にスマホを向けるなんて・・・



次は能満寺。高野山真言宗の寺。



日陰で寒く説明を聞き忘れた！



神奈川小学校の一角に神奈川宿絵巻のタイル画があった。江戸時代に道中奉行所が作った絵図。



熊野神社。鳥居の左右に石造りの大きな狛犬が。紀伊熊野本宮大社の神霊を分祀、神奈川郷の総鎮守とした。



神奈川地区センターの前には復元された高札場がある。



センターでトイレ休憩。あれ、見たようなご婦人が！？



宣教師たちの宿舎となった成仏寺。湊に近い東海道筋の寺は外国人の宿舎に充てられることが多かった。



フランス領事館があった慶雲寺。別名浦島寺とも呼ばれる。各地にもあるがこの神奈川区の浦島太郎伝説はここです。



手水鉢の形も亀になっている！



昭和10年に再建された観音堂内。



ここで“奈良乙姫”さんの説明が。

●観福壽寺(通称浦島寺)は天長年間(824～833年)に開かれた。浦島太郎が雄略天皇22年(478年)に龍宮へ行き、淳和天皇時代の天長2年(825年)故郷へ帰るときに、乙姫さまからお守りに授かった観音像を両親の墓のそばにお堂を建てて安置したのがお寺のはじまりであろう。この観福壽寺は慶応3年(1867)・推定・に類焼し、明治5年(1872)に廃寺となる。そして、明治6年(1873)に当慶運寺の境内へ観音像碑4基が移された。翌明治7年(1874)に観音堂が建てられて、そこに観音像は安置された。



明治天皇行在(あんざい)所之蹟。天皇が宿泊した場所。



滝の橋。開港当時は外国との接点。本陣もこの辺りに。



神奈川台場跡に到着です。



碑の裏には当時の石組みが残る。



台場公園に移動。その歴史を学ぶ。



その名も「龍宮橋」を渡り星野町公園に向かう。



途中のJR高島貨物線踏切で貨物列車の通過を待つが・・・



機関車だけの通過だった！



星野町公園にも台場跡の石組みが保存。



この公園でランチタイム。吹きさらしで寒さが身に沁みる中、ゆっくり食べていられなかった！



食事が終わる頃にやや風が弱まったが...



L&SLは何やら打ち合わせ中か？



神奈川の大井戸。東海道の名井戸で宗興寺の脇にある。開港時には外人宣教医もこの井戸水を使った。



宗興寺。開港時には、ヘボン式で知られるヘボン博士がこの寺に診療所を開いていた。



本日初の上り坂。路傍の落葉が冬の到来を告げる。

幸ヶ谷公園に到着。中世には権現山城があった場所。



背後の本覚寺とはかつて尾根続きの山だったが、江戸時代に神奈川台場等の埋め立て用に削られた。



公園下には洲崎大神がある。ここは源頼朝が安房国安房神社の分霊を勧請し、幕府直轄の神社として創建した。神社の参道が第一京浜に突き当たる所はかつての船着場で、開港場と神奈川宿を結ぶ渡船場でもあった。



ここは普門寺。真言宗智山派の寺。



フランス公使館があった甚行寺。



真言宗高田派の寺。明暦2年創建。



本覚寺に上る。ここは青木城跡とも言われる場所。



またアメリカ領事館が置かれたことでも知られる寺。



かつて山門は白いペンキで塗られていた。



本日のサービスショット！(お淑やかな？四人組)



高島山の急坂脇に建つ三宝寺の案内板を読む。



この場所から撮った明治初年の横浜駅方面。



高島山公園で休憩。暫しここからの風景を楽しむ皆さん。



SLはお疲れ？ それとも幼き日の記憶を辿っている？



この辺りから旧東海道は緩やかな上り坂になる。



大綱金毘羅神社前には一里塚が。(写真を撮り忘れ！)



昭和22年創業の料亭「滝川」。高そう！

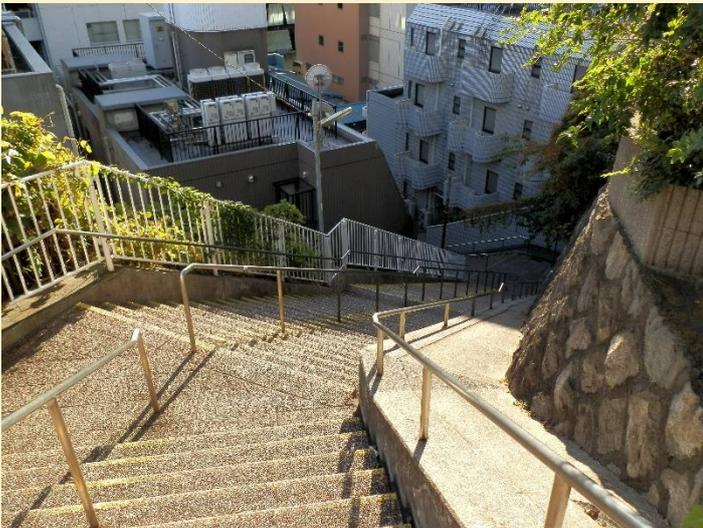


こちらは竜馬の妻おりょうが勤めていた田中屋。





ここは神奈川台の関門跡。外国人殺傷事件を受け、横浜周辺の主要地点に関門を設けたが西側の関門がこの場所。



この辺りの東海道の下は海だった。この傾斜が物語る。



神奈川宿の西端にあたる上台橋はかつて海辺だった。



最後は沢渡中央公園でクールダウンをし横浜駅へ向かう。



ジョイナスに入り地下街の暖かさにホットするメンバー。

<今日の一言>

本日のウォークを一言で言えば「天気晴朗なれど北風寒し」でした！ 私事ながら、若い頃はむしろ寒さに強かったのですが、今はめっぽう弱くなりました。官沢賢治の遺作メモに「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ・・・」とあり広く知られていますが、もうすでに負けてしまっています！ 12月は師走、師(僧)が仏事で忙しく走り回ることから「師馳(しはせ)月」が訛ったものとか。もっとも現代の僧侶は、足を使わず車での檀家回りなので楽ですが・・・L&SL はじめ参加の皆さんお疲れ様でした。

(※古写真等は Web サイトより引用)